

令和6年度

やなせ家庭学習スタンダード

＜合言葉＞

じぶんに

チャレンジ！



宇都宮市立築瀬小学校

築瀬小学校の学習のきまり

目指す子供の姿

自ら問いをもって友達と学び合う子



～はじめに～

子供たちは、1日のうち3分の1以上の時間を学校で過ごします。その学校での生活の中で最も多くの時間を使っているのが授業（学習）です。その授業を充実させるために、学習に向かう基本的事項を「学習のきまり」としてまとめました。学校と家庭が連携し、自ら問いをもち、学習に取り組む子供に育てていけたらと思います。「ともに進む」を合言葉に、ご協力をお願いいたします。

1 やる気を高めるために

（１） 学習の準備

授業において、学習の準備がそろっていないと、スタートから学習意欲を失ってしまいます。忘れ物がないか、前日にしっかり準備するよう、声かけをお願いします。

◆準備するもの（持ち物の約束）・・持ち物には名前を書いておきましょう。

筆箱：1，2年生は箱型の筆箱が望ましい。箱型の場合は鉛筆のキャップは使いません。

3年生以上も学習にふさわしくない人形型の筆箱は学校には持ってきません。

① 鉛筆5～6本（B・2B）・・シャーペンは細く折れやすく、筆圧がかかりにくいので使いません。
メタルペンシルは色が薄いので使いません。

② 赤青鉛筆

③ 消しゴム・・よく消えるもの、においがいいもの（※おもちゃのようなものは使用しない。）

④ 定規・・15cm程度で、折りたたみでないもの。

⑤ 下敷き（派手でないもの）

⑥ 教科書・ノート

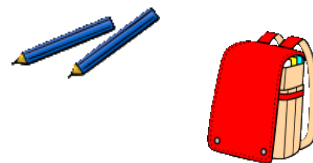
※鉛筆は1年生から自分で削る習慣を身に付けましょう。

※ノートは4月の初めに各教科必要なものが配られます。2冊目以降は同じマスや行のものを各ご家庭で準備をお願いします。

⑦ タブレット

※必ず家で充電してきてください。

※市から借りているものなので大切に扱うようにしましょう。



お道具箱の中に入れておくもの

のり・はさみ・色鉛筆(クーピー)・セロハンテープ

3年生以上は三角定規，4年生以上はコンパス，5年生以上は分度器を入れておく。

(4月のスタート時に入れておくものとして)

【保護者の皆様へ】

◎忘れ物について

児童の責任の下、準備をするように学校で指導していきたいと思いますので、ご家庭でも忘れ物をしないようお子様に声かけをしていただくなどご支援をよろしくお願いします。

なお、児童が登校後に、忘れ物に気付いた場合であっても、届ける対応はなしとしますので、ご理解願います。帰宅後、学習用具等を学校に取りに来る時には、必ず保護者と一緒に来校し、インターホンにてその旨を職員室に伝えてください。

◎築瀬小学校では、学習の準備として、持ち物のほかにこのような約束を基に子供たちと学習に励んでいます。

(2) 家庭学習の習慣化

やなせ小学校では、学習の基礎・基本の定着を図るために、学習習慣を身に付けることを指導しています。その中の一つとして家庭学習の習慣も身に付けさせたいと考えています。家庭学習を習慣化させるためのポイントは、次の通りです。

○学習する時間や TV、ゲームの時間などの約束事を、子供と話し合って決める。

○学習をする時には、学習に必要なでないものを近くに置かない。

○身近な場所に辞書や地図などを置き、すぐ調べられるようにする。

2 集中力を高めるために

家庭での学習習慣を身に付けさせる次の段階は、しっかりと集中して実のある勉強をすることです。そのためには、気が散らないように環境を整えること、短時間で成果が見える工夫をすることが大切です。

① テレビやラジオなどは消す

数十分のことです。
大人も協力しましょう！



② 学習に関係がないものを遠ざける

ゲーム機、スマホ、漫画本、おもちゃ・・・



勉強が終わってからの、
お楽しみ・・・我慢しよう！

③ 筆箱の中を整える

念のため、望ましい筆記用具の基本を示しました。時々点検をお願いします。

④ 毎日、同じ時間に学習する習慣を身に付ける。

⑤ 集中して真剣に取り組むようにする。

3

継続力を高めるために

いよいよ家庭学習の最終段階。習慣化するか、三日坊主で終わるかの根比べです。勉強癖をつけるには、毎日同じ時間に、決まったことをやり続けるしか道はありません。お子様が生涯「自立した学習者」になるかどうかは、小学校時代に決まります。

(1) やる時間を決める

「ひとり学習」ができる下地は、家庭がつくるものです。一人でできるようになるまで、しっかり見守って支えてあげてください。学校の始業時刻が固定されているのと一緒に、毎日同じ時刻にやり始めることで習慣として身に付きます。

なぜ小がお勧めする目標時間は…

$$\text{学年} \times 10 + 10\text{分}$$

(例) 4年生の場合・・・ $4 \times 10 + 10 = 50$ 分

1日プラス10分頑張ると、1週間で70分、

1月で300分(5時間) 1年で3650分(60時間)もプラスになります。

1日分はほんの少しでも、毎日続けることで大きな効果があります。

(2) やることをはっきり決める

食べたら歯を磨くというように、「帰宅したら音読」「夕食を待っている間に宿題」などと、お子様の生活に合わせて学習することを決めてしまうのもひとつの方法です。お子様が自分で決められるようになるまでは、保護者の方が一緒に考えて決めてください。学年が進むにつれて、自分で家庭学習のめあてや内容を決めるようにします。

なぜ小がお勧めする毎日の学習は…

① **宿題**・・・連絡帳に書かれた課題は必ずやります。担任との約束の勉強です。

② **自主学習**： **1・2年生**は宿題をやって余力のあるお子さん。

3年生以上は進んでやります。

目標時間＝宿題の時間＋自主学習の時間

内容はその日の授業の復習など、知識・理解面を向上させるものを中心に、読書や運動、楽器の練習なども含め、自分で決めてやります。

お薦めのノート

- ◆ 横線のノートやマス目の線が薄く印刷されたものがお薦めです。
- ◆ マス目ノートは、漢字練習、表やグラフ、筆算、100マス計算にも便利です。

あると便利なグッズ

- ◆ 色鉛筆やクーピー：イラストやグラフの色付けに便利です。
- ◆ 水性ペンやマーカー：大事な部分を目立たせることができます。

(3) 時間で区切る

短時間で成果を見ることが集中力を生みます。時間を有効に使う方法として、例を挙げておきます。学力テスト対策にも有効です。ぜひ、時間を意識した家庭学習を積み重ねてください。

① 目標時間を設定する

このプリントを10分で終わらせる。この計算問題を5分で解く。時間を設定することで、集中して課題に取り組むことができます。目標時間を決めて取り組むことで、時間内にやり遂げることができたという達成感を味わうことができます。

② 達成タイムを記録する

たし算、ひき算、かけ算九九、計算ドリルの簡単な計算問題などは、タイムを計ってやってみます。人と比べるためではなく、昨日の自分と比べて「進歩」を捉えるためです。同じ問題を何回かやって、タイムが縮まると達成感を味わうことができ、自信もつきます。子どもは、時間短縮に挑戦することが大好きで、ゲーム感覚の喜びを感じるようです。タイムは記録して、毎日比べてみるとよいでしょう。

やったー！



(4) 読書時間の確保 全ての学習は、字を読むことから始まります。

○家庭で読書をする時間を確保していきましょう。

○調べ学習では、タブレットだけでなく、本を用いるなど、本のよさについて学校とご家庭の双方から子供たちに伝えていきましょう。

(5) 褒めて伸ばす

「たくさん書けたね。」「〇〇ちゃんすごいね。」などの言葉を掛け、成果だけでなく努力したことを褒めることが大切です。その日にお子さんが取り組んだ内容を見ていただき、漢字や計算の間違えがある場合は、直すことを促していただき、間違いを正すことができれば、大いに褒めていただけるとありがたいです。

やった!!!
もっとがんばろ



① 「ほめ言葉」は力強く短く！

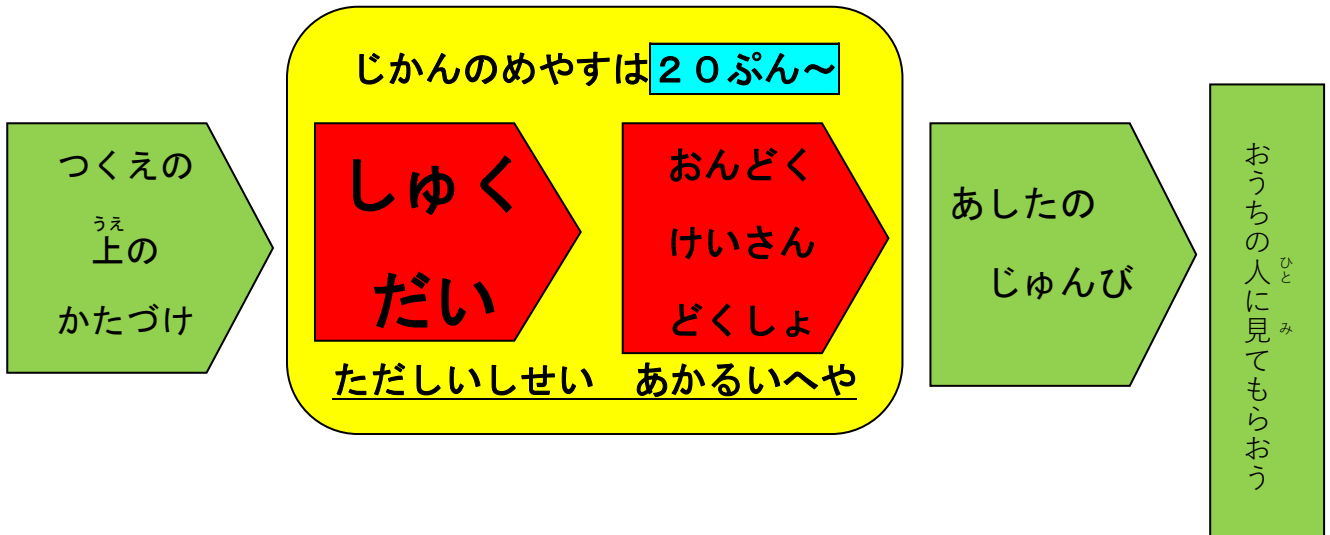
「えらい!」、「お見事!」、「やるねえ!」など

② 事実をほめる!!

「きれいな字ね」、「ていねいに書けたね」など

かていがくしゅうのてびき (1・2ねんせい)

おうちにかえったら



- 1 れんらくちょうをみて、しゅくだいがなにかをたしかめましょう。
- 2 つくえにむかって、しゅくだいをしましょう。
- 3 しゅくだいをすませたら、「あしたのようい」をし、
わすれものがないようにしましょう。
- 4 できれば、おうちのひととそうだんをして、
じしゅがくしゅうもやりましょう。
- 5 がくしゅうしたものは、おうちのひとにみてもらって、
まちがいがあればなおしましょう。



☆☆しゅくだいでわからないところがあったら？☆☆

- ◎きょうかしょなどで、しらべましょう。
- ◎おうちのひとにききましょう。
- ◎つぎのひ、せんせいにききましょう。



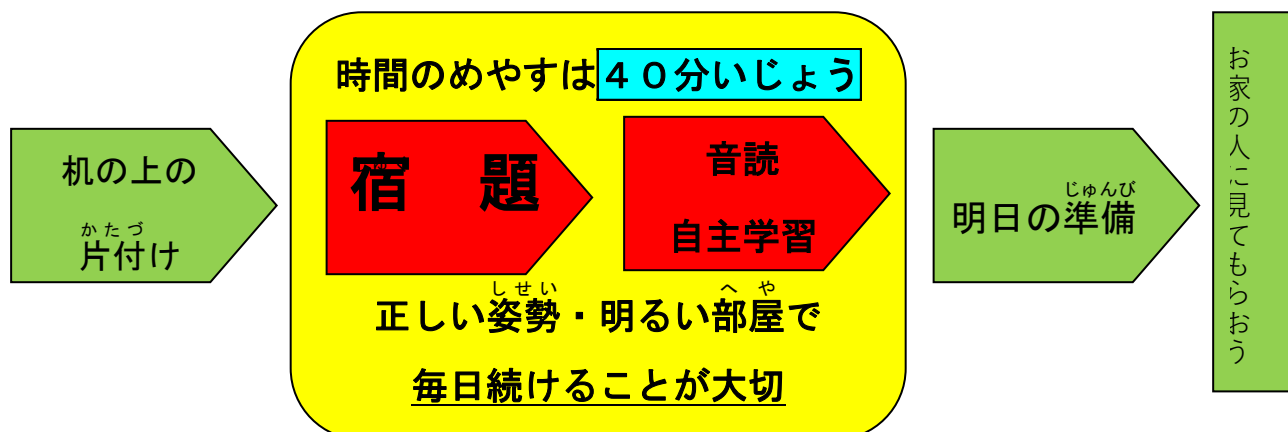
☆☆じしゅがくしゅうには、どんなものがあるの？☆☆

おうちのひととそうだんをして、やってみよう。

- ・ こくご (おんどく・字のれんしゅうくひらがな、カタカナ、かん字・ししゃ・どくしょ・日記)
- ・ さんすう (きょうかしょのもんだいをもういちどとく。
- ・ ・ けいさんカード【たしざん・ひきざん・かけざん】)
- ・ ※じかんの はかって はやく せいかくに！
- ・ その他 (プリントやテストのやりなおし・いえにあるもんだいしゅう。)
- ・ けんぱんハーモニカのれんしゅう・いえのてつだい など

家庭学習の手引 (3・4年生)

1. 家庭学習の手順



2. 宿題が終わったら、自主学習に取り組もう!!

国語の自主学習は・・・

- 教科書や本を音読する。
- 学習したノートをもう一度読む。
- 漢字練習をする。
- 教科書の文をていねいにノートに写す。
- 習った言葉を使って短い文を作る。
- 学習したことのポイントをノートにまとめる。
- 分からない言葉を辞書で調べる。

算数の自主学習は・・・

- 学習したノートを読む。
- 授業でやった問題を自分の力でやってみる。
- 終わったら、もう一度見直す。
- プリントやテストの直しを、できるまで繰り返す。
- 家にある問題集などにチャレンジする。
- 文章問題を作り、自分でとく。昨日の自分より、はやく 正かくに！

理科や社会の自主学習は・・・

- 教科書を読む。
- 学習したノートをもう一度読む。
- 学習したポイントをまとめる。
- プリントやテストの直しを、できるまで繰り返す。
- 家にある問題集などに、時間を計ってチャレンジする。

音楽・図工・体育は・・・

- 歌や楽器の練習。
- もう一度、絵をかいてみる。
- 体力づくりをする。

☆得意なことを伸ばし、苦手なことにチャレンジしていきましょう。学校で学習したことで、分からないことがあったら、すぐに先生に聞きましょう。

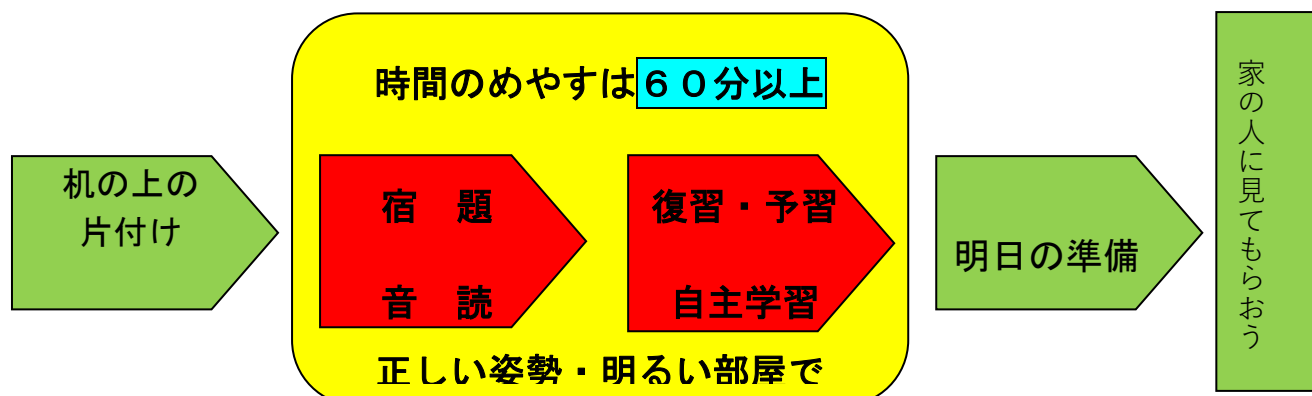
☆スマイルネクストをどんどん進めましょう！前の学年のふく習にもGOOD！

毎日、読書をしよう

時間をくふうして読書の時間を作ろう。いろいろな種類の本を読みましよう！！初めて読むときに、声に出して読むこともとてもよい勉強です。

家庭学習の手引（5・6年生）

1. 家庭学習の手順



2. 自主学习に取り組もう!!

（1）復習・予習をしよう

●復習 ⇒ 授業で学習した内容を家で振り返り、確実に身に付けよう。

（例）「ノートを読む」、「内容をまとめ直す」、「もう一度解いてみる」など

●予習 ⇒ 次の日に習うところを読む。

※ 読むことで、授業で何を勉強するかが分かる。声に出して読むとより効果的!!

国語の予習や復習は・・・

- ① 教科書の文をノートに写す。
- ② 分からなかったことをもう一度チャレンジする。
- ③ 習った言葉を使って短い文を作る。
- ④ 本の音読や漢字練習をする。
- ⑤ テーマを決めて作文や日記を書く。
- ⑥ 家にある問題集などをやる。

算数の復習は・・・

- ① ドリルなどの問題をもう一度解く。
- ② 授業でやった問題を自分の力でやる
- ③ 授業のポイントのまとめをする。
- ④ まちがえた問題を、できるだけ繰り返しやる。
- ⑤ 家にある問題集などをやる。
- ⑥ 時間内にできなかった問題を、時間間に合うまで、くり返し解く。
- ⑦ 学習した内容の問題を作って解く。

（2）工夫して学習しよう

得意なことを伸ばし、苦手なことは克服していきましょう。「学校で学習したこと」を生かし、いろいろなことに取り組んでみよう。（裏面に、例があるよ。）

（3）毎日、読書をしよう

時間を工夫して読書の時間を作ろう。いろいろなジャンルの本を読もう

『家庭学習』について

本校では、昨年度に引き続き家庭学習の充実を図っているところですが、保護者の皆様にはいろいろとご協力をいただき、ありがとうございます。今年も「家庭学習スタンダード」及び「家庭学習の手引き」を配付いたしました。今後さらに家庭との連携を深め、家庭学習の習慣化を図りたいと思いますのでよろしくお願いいたします。

＜基本的な考え方＞

1 学びの機会を充実し、学ぶ習慣を身に付けさせたい。

学校では、適切な宿題の出し方や、家庭学習を進めるための支援を心がけます。ご家庭でも、自主学習など家庭における学習の充実を図ることにより、子供たちに学ぶ習慣を身に付けさせましょう。

2 学ぶことの楽しさを体験させ、学習意欲を高めさせたい。

学習は、読み・書き・計算だけではありません。読書をしたり、絵を描いたり、楽器を弾いたり、物を作ったりすることや家の手伝いをする 것도大切にしながら、学ぶ楽しさを体験させ、学習の意欲を高めさせましょう。

3 基礎・基本を確実に身に付けさせたい。

人は、1日たつと、覚えたことを半分以上忘れてしまうそうです。忘れないようにするためには繰り返し復習することが大切です。繰り返し練習が必要な内容は、学校だけではなかなか身に付きません。家庭での個に応じた繰り返し練習により、基礎的・基本的な内容を確実に定着させ、わかった喜びやできた喜びを体験させましょう。

4 一人一人の個性等に応じて子供の力を伸ばしたい。

いつも全員が同じ学習をする必要はありません。自分が興味のあるもの、得意なもの、苦手なもの、もっと調べたいもの等、補足的な学習や発展的な学習を選んで取り組ませることにより、一人一人の個性に応じた力を伸ばしていきましょう。

＜お願い＞

- お子様に取り組んだ学習内容に誤りがあった場合は、すぐに直すことで効果が上がるものが多いようです。自主学習については、原則としてご家庭で丸つけ・間違い直しまでお願いします。宿題も提出する前に、計算ミスや字の間違いなどを直させていただけると効果的です。
- 3年生以上は、「家庭学習の記録」を行います。お手数をかけますが、毎日お子様の学習の様子をご確認の上、保護者の方がサインをしてくださいますようお願いいたします。

令和6年度

学年別使用ノート一覧

宇都宮市立 築瀬 小学校

	1年	2年	3年	4年	5年	6年
国語	10マス 中心リーダー入	15マス 中心リーダー入	18マス (12×18) 中心リーダー入	15行 中心リーダー入	15行 中心リーダー入	15行 中心リーダー入
漢字	84字 中心リーダー入	84字 中心リーダー入	91字 中心リーダー入	120字	120字	150字 中心リーダー入
社会			5mm 方眼罫 10mm 実線入	5mm 方眼罫 10mm 実線入	5mm 方眼罫 10mm 実線入	5mm 方眼罫 10mm 実線入
算数 (計)	横12マス 中心リーダー入	17マス	5mm 方眼罫 10mm 実線入 (計算ドリル 用も同じ)	5mm 方眼罫 10mm 実線入	5mm 方眼罫 10mm 実線入	5mm 方眼罫 10mm 実線入
理科			5mm 方眼罫 10mm 実線入	5mm 方眼罫 10mm 実線入	5mm 方眼罫 10mm 実線入	5mm 方眼罫 10mm 実線入
自学			5mm 方眼罫 10mm 実線入 (2 学期から 使用)	5mm 方眼罫 10mm 実線入 (2 学期から 使用)	5mm 方眼罫 10mm 実線入	5mm 方眼罫 10mm 実線入

- ・ 築瀬小学校で今年度使用するノートの規格です。
- ・ 2冊目を購入する時には、上記の規格と同じものを購入するようにしてください。
- ・ メーカー（キャラクター等）は同じでなくても大丈夫ですが、あまり華美なデザインのものとは選ばないようにしてください。
- ・ 迷った場合には、使い終わるノートを持参して確認しながら探すと、見つかりやすいと思います。
- ・ ノートが残り少なくなってきたら、余裕をもって早めに購入しておくようにしてください。